

## 宝塚あんしんネットの紹介

宝塚市医師会では以前より末岡会長を中心に、今後の高齢社会における宝塚市の地域包括ケアについて宝塚市行政と話し合いを進めてきました。そしてこのたび、ICT( Information and Communication Technology )を活用した在宅医療・介護情報連携システムを構築し、一層の医療介護連携を推進するために「宝塚あんしんネット」を構築することとなりました。

この宝塚あんしんネットを運営するために、宝塚市医師会は宝塚市と協定を結び、事務局を担います。

ICTツールとしては、すでに国内 100 か所以上の医師会で採用されている医療介護従事者専用の完全非公開型のソーシャルネットワークサービス(SNS)である日本エンブレース社の Medical Care Station (MCS)を採用することにしました。

MCS は LINE のようなソフトですが、医療介護従事者専用の完全非公開型であることが特徴で、厚生労働省ならびに日本医師会でも SNS としてはこのような完全非公開型の SNS の利用を進めています。

MCS の紹介については、京都府医師会が作成した「京あんしんネット」の動画が分かりやすいです。

<http://kyo-anshin.net/>

MCS はコミュニケーションツールの位置づけで、カルテなどの診療情報の中核的なデータに触れるのではなく、患者を支援する多職種でひとつのグループを作り、相互の情報交換を促すツールです。従来、在宅医療の現場では、医師、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、ヘルパー等との多職種の連絡に、電話、メール、ファックスなどさまざまな方法で情報交換をしてきましたが、この MCS を使用することで相互の連絡方法を統一化し簡素化することができます。

無料で、操作が容易であることから、すでに日本中 100 か所以上の医師会で正式に採用されており、急速な拡がりを見せています。

すでに、群馬県、栃木県、静岡県、京都府などでは県単位で医療介護連携ツールとして採用されています。東京都でも北多摩医療圏では、調布市、武蔵野市、小金井市、三鷹市、浪江市、府中市など 6 市において採用されており、自治体の境界を越えて MCS での連携が可能になっています。

宝塚市の医療介護連携を推進するために、どうぞ「宝塚あんしんネット」に参加してください。以下に、簡単に利用案内を記載します。

\*\*\*\*\*

以下、「宝塚あんしんネット」の利用の流れについて、簡単に説明します。

Medical Care Station のホームページも参考にしてください。

<https://www.medical-care.net/html/start/>

1) 最初に、「宝塚あんしんネット運用ポリシー」を十分に御理解ください。

2)「宝塚あんしんネット」利用希望者は、別紙様式1「宝塚あんしんネット 利用申込書」に、各事業所ごとにまとめて利用希望者の氏名、メールアドレスを記入頂き、宝塚市医師会事務局まで郵送してください。

なおこの際、誤植を避けるために、上記氏名、登録希望メールアドレスを、同時に [mcs@takarazuka.hyogo.med.or.jp](mailto:mcs@takarazuka.hyogo.med.or.jp) までメールにて送信もお願いします。

「宝塚あんしんネット」は原則として、利用者それぞれにメールアドレスの登録が必要です。会社名、団体名、法人名のアドレスでの登録など、メールアドレスの共有は厚生労働省のガイドライン上も勧められません。

個人のメールアドレスの登録を躊躇される場合は、Gmailなどのフリーメールアドレスの取得をお勧めします。MCSにおいては登録アドレスには「メールが届きました」という通知が来るだけで、メール本文が届くわけではありませんので、メール内容が漏洩するなどの心配はありません。

3)同時に、別紙様式2「連携守秘誓約書」も同時に事務局にお送りください。

4)事務局より登録済み連絡を各事業所管理者に御連絡致します。

5)利用希望者は、利用登録されたメールアドレスで、MCSに登録をしてください。

6)患者様のグループを作成して、患者様の情報交換を行う場合は、かかりつけ医が連携元事業所となり、患者から「宝塚あんしんネットを用いた情報共有について同意書(別紙様式4)」を得てください。

かかりつけ医がいない場合には、患者の全体像を把握できる事業所が、連携元事業所を担当することもできます。

7)連携元事業所は患者のグループを作成した場合、患者同意書のPDFもしくは写真をタイムラインに掲載し、各連携協力事業所にも患者同意が得られていることを公開して下さい。

8)連携元事業所は患者を支援する協力事業所を適時グループに招待してください。一方、グループ運営を中止する場合には、保管機能を用いてグループを削除するなど適切な運営に心掛けてください。

9)連携元ならびに協力事業所ともに、各事業所の管理者の責任で、患者より得られた情報の守秘義務などを徹底するなど、宝塚あんしんネットの安全な運営に心掛けてください。(別紙様式3)

10)宝塚あんしんネットは、患者を中心としたグループの作成だけではなく、自由グループとして、医師会や各委員会などの小グループでグループを作ることも可能です。メーリングリストのように特定の仲間の連絡ツールとして利用することができます。

<参考資料>

★ガイドライン

厚生労働省 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第5版

[http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu\\_Shakaihoshoutantou/0000166260.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000166260.pdf)

厚生労働省 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン 最新版

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000027272.html>

HISPRO（一般社団法人保険医療福祉情報安全管理適合性評価協会）

医療情報連携において、SNSを利用する際に気を付けるべき事項

[http://www.hispro.or.jp/open/pdf/SNS\\_RiyouchiCheckJikou\\_20160126.pdf](http://www.hispro.or.jp/open/pdf/SNS_RiyouchiCheckJikou_20160126.pdf)

★参考にするサイト

群馬県医師会 どこでも連絡帳

<http://dokoren.jp/>

京都府医師会 京あんしんネット

<http://kyo-anshin.net/>